

令和5年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

安中地域



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

どんな事業？



さほう
砂防えんてい

安中地域



安中地域は赤城・榛名・妙義の上毛三山を一望できる風光明媚な田園都市であり、かつては中山道の宿場、関所が置かれるなど交通の要衝でした。

現在も、新幹線駅や高速道路ＩＣなどの高速交通網を有する交通・輸送の要衝として栄えています。また、磯部温泉や秋間梅林などの観光資源や碓氷関所跡・碓氷峠鉄道施設などの史跡等にも恵まれた地域です。

地域の優れた特性

- 旧中山道や日本最大の煉瓦造アーチ橋「めがね橋」を有する碓氷峠鉄道施設など交通の要衝であった地域を象徴する歴史的な観光資源を活用した地域振興が盛んな地域です。
- 紅葉で名高い妙義山や碓氷川沿いに開けた磯部温泉のほか、秋間梅林などの観光資源が多数存在しています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害・土砂災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 豪雨時や地震時等でも、道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 物流の効率化による企業誘致の推進や地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 軽井沢や富岡製糸場、伊香保温泉などの広域的な観光地との周遊性の向上を図るための取組が求められています。
- 学校周辺や市街地等を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 増田川ダム中止を受け、代替措置としての水害対策を着実に進めてほしい。
- 道路の幅員が狭い区間や歩道未整備区間の道路整備を進めてほしい。
- 観光集客効果の向上につなげるための取組を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 河川氾濫による水害リスクを軽減するため、一級河川碓氷川の河川改修等を推進します。
- ② 土砂災害リスクを軽減するため、中関地区の地すべり対策等を推進します。
- ③ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道18号の落石対策や西毛広域幹線道路の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 広域的な観光地の周遊性の向上を図るため、県道恵宝沢原貝戸線のバイパス整備等を推進します。
- ② 学校周辺や市街地等を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道長久保郷原線の歩道整備や県道一本木平小井戸安中線の電線共同溝の整備等を推進します。

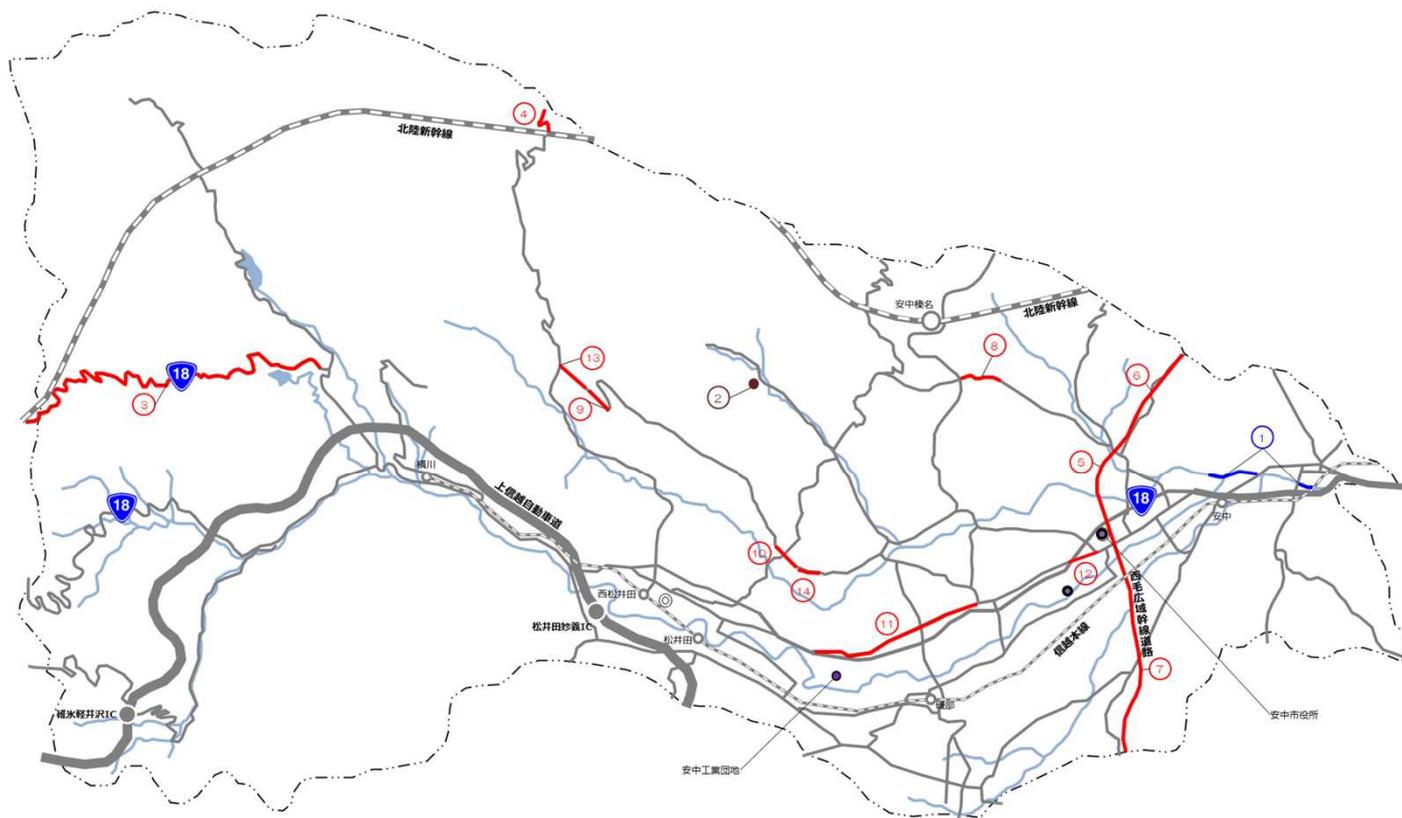
～掲載事業一覧～

安中地域

| 番号 | 事業内容 | 施工箇所 | 路河川名 | ページ番号 |
|----|--------|----------------|------------------------------|-------|
| 1 | 河川改修 | 安中市板鼻～中宿 | 一級河川碓氷川(安中工区) | 1 |
| 2 | 地すべり対策 | 安中市西上秋間 | 中関地区 | 2 |
| 3 | 落石対策 | 安中市松井田町坂本 | 国道18号(旧道) | 3 |
| 4 | 落石対策 | 安中市松井田町上増田 | 県道渋川松井田線 | 4 |
| 5 | バイパス整備 | 安中市下秋間～安中 | 西毛広域幹線道路(安中工区) | 5 |
| 6 | | 高崎市下里見町～安中市下秋間 | 西毛広域幹線道路(高崎安中工区) | 6 |
| 7 | | 安中市安中～富岡市上高尾 | 西毛広域幹線道路 (安中富岡工区(街路区間含む)) | 7 |
| 8 | | 安中市中秋間 | 県道恵宝沢原貝戸線(池尻工区) | 8 |
| 9 | 歩道整備 | 安中市松井田町上増田 | 県道長久保郷原線(上増田工区) | 9 |
| 10 | | 安中市松井田町国衙～小日向 | 県道長久保郷原線(松井田工区) | 10 |
| 11 | | 安中市原市 | 県道長久保郷原線(原市工区) | 11 |
| 12 | 電線共同溝 | 安中市安中 | 県道一本木平小井戸安中線(安中工区) | 12 |
| 13 | 歩道整備 | 安中市松井田町上増田 | 県道長久保郷原線(上増田2期工区) | 13 |
| 14 | | 安中市松井田町小日向 | 県道長久保郷原線(小日向工区) | 14 |

主要事業箇所図（安中地域）

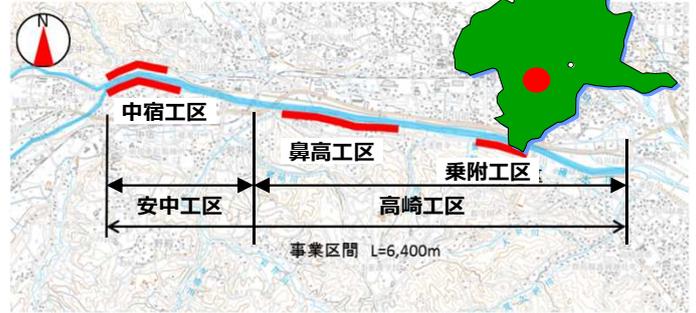
- 凡例**
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水・住宅・公共交通等）
- 【その他】
- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産学団地）



事業概要

- 所在地：安中市板鼻～中宿 (高崎市乗附町、鼻高町)
- 河川名：一級河川 碓氷川
- 事業内容：築堤延長 6,400m
 中宿工区 築堤 1,300m (乗附工区 築堤 300m) (鼻高工区 築堤 1,500m)
- 全体事業費：約35億円 (高崎工区を含む)
- 事業期間：平成28年度～令和11年度 (14年間)
- 計画規模：概ね20年または30年に1回程度発生すると予想される洪水による氾濫を防止することを目標
- 現況流下能力：630m³/s
- 計画流下能力：1,900～2,000m³/s

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・水害リスクを軽減するため

堤防をつくり、流せる水の量を増やします



河川の中の土砂堆積により、近年の豪雨で今後堤防から水があふれてしまうのではと心配。(地元区長)
 家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地元住民)

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後 (目標) |
|-------------------|--------------|----------|
| 想定氾濫面積の減少 | 478ha | 0ha |
| 想定氾濫区域内の浸水戸数の減少 | 3,286戸 | 0戸 |
| 想定氾濫区域内の重要公共施設の減少 | 国道18号、JR信越本線 | 0施設 |

※碓氷川河川改修事業高崎工区及び安中工区の実施後による効果

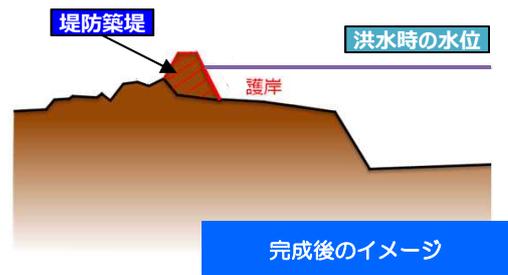
実施前

◆堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。

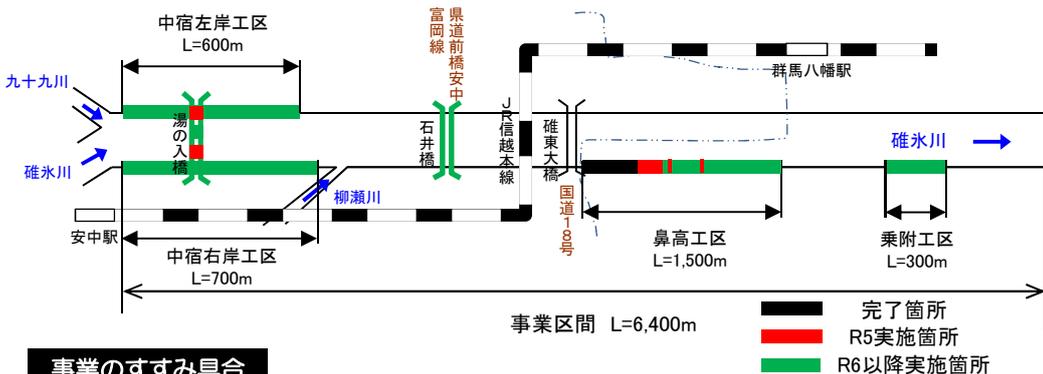


実施後

◆堤防を高くすることにより、流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減させます。



事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き用地買収を行い、湯の入橋の下部工を実施します。(安中工区)



堤防予定地

事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：安中市西上秋間
- 地区名：中関地区
- 事業内容：地すべり対策工（集水井工・横ポーリング工）
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：平成28年度～令和5年度（8年間）
- 保全対象：人家13戸、一級河川秋間川

集水井とは、

地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

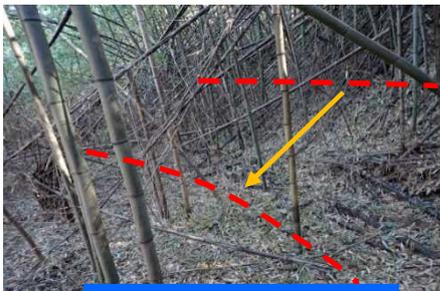


- ・近年全国で毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。（地域住民）
- ・山間部のため、地すべりが発生した際の交通網の寸断による孤立が不安です。（地域住民）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後（目標） |
|---------|-----|---------|
| 保全される人家 | 0戸 | 13戸 |

実施前

- ◆平成29年より地すべり活動が再開し、斜面の滑落により、人家への被害が発生するおそれがあります。



斜面上部に見られる滑落崖

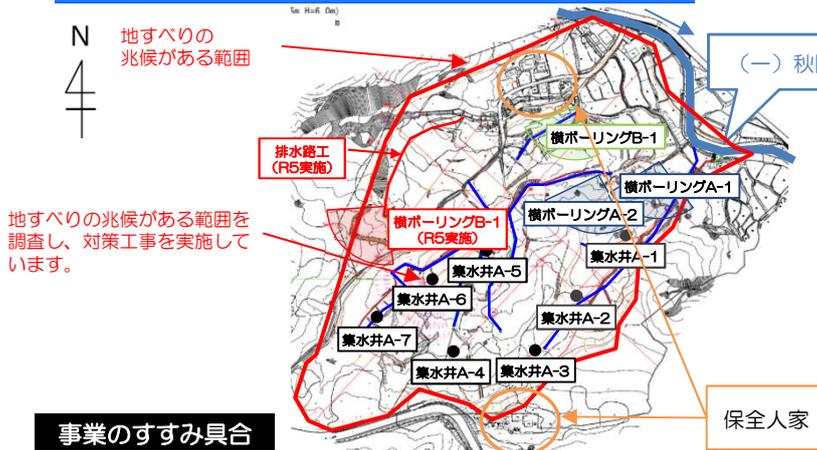
実施後

- ◆集水井を整備し地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



集水井A-1の完成状況（R3.3）

事業の進捗状況（R5年3月現在）



地すべりの兆候がある範囲を調査し、対策工を実施しています。

今、何をしているか

令和5年度も引き続き排水路工と、横ポーリング工の工事を実施します。

R5年度 施工予定箇所（排水路）



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

事業概要

- 箇所名：安中市松井田町坂本
- 路線名：国道18号(旧道)
- 事業内容：落石対策 17箇所
- 全体事業費：約6億円
- 事業期間：平成30年度～令和6年度(7年間)
- 現在の交通量(H27)：
 - 812台/日(自動車)
 - 2人/12時間(歩行者)
 - 22台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：2次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を補強します

地元の声

- ・災害時でも障害なく通れる道路がほしい。(道路利用者)
- ・軽井沢町に抜ける観光ルートでありマラソンイベント等もあるので安全に通れる道路にしてほしい。(地元住民)

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後(目標) |
|----------------|---------|---------|
| 道路上への落石・土砂流出件数 | 20件程度/年 | 0件 |
| 斜面の危険箇所数 | 17箇所 | 0箇所 |

実施前

◆道路脇の法面は浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。

※A261 整備前



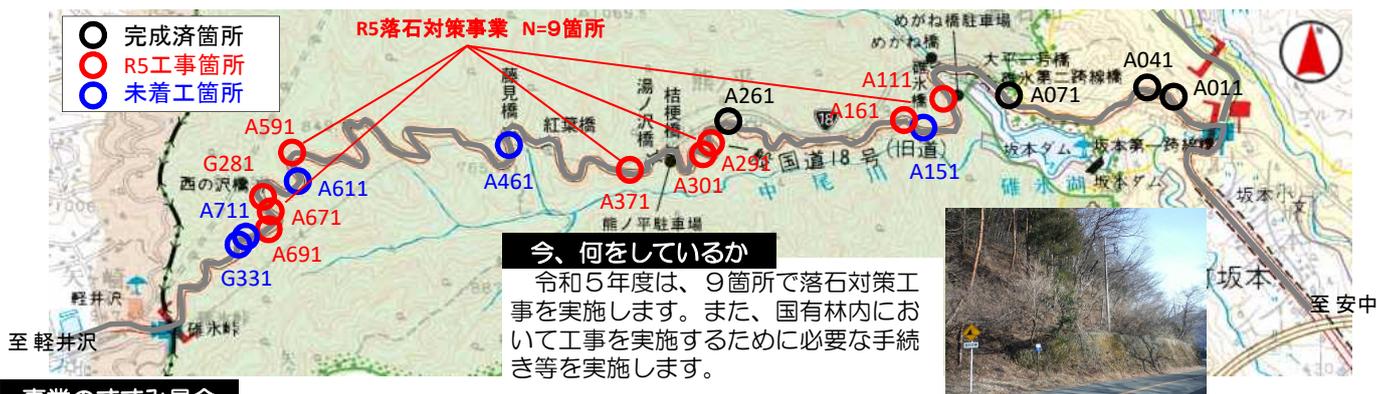
実施後

◆斜面を補強することによって、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減します。

※A261 整備後



事業の進捗状況(R5年3月現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：安中市松井田町上増田
- 路線名：主要地方道 渋川松井田線
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 全体事業費：約0.4億円
- 事業期間：平成30年度～令和3年度（4年間）
- 現在の交通量（H27）：1,070台/日（自動車）
： 4人/12時間（歩行者）
： 2台/12時間（自転車）
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました

地元の声

- ・防護柵が老朽化しているため、車両走行時の落石が心配。（道路利用者）
- ・道路下の斜面に崩れている箇所があるため、道路が崩落しないか心配。（道路利用者）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後 |
|----------------|----------|-----|
| 道路上への落石・土砂流出件数 | 4～5件程度/年 | 0件 |
| 斜面の危険箇所数 | 2箇所 | 0箇所 |

実施前

◆道路下の法面は浸食が進み、擁壁基礎が露出している状態であったため、道路が崩落・寸断するおそれがありました。



事業前の状況

実施後

◆道路擁壁を補強することによって、土砂流出による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。

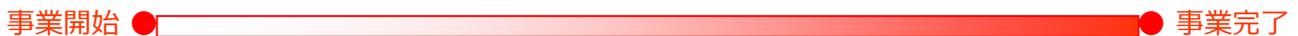


完成後

事業の進捗状況（R3年度完了）



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和3年度に2工区の工事が完了し、道路の安全性が高まりました。



西毛広域幹線道路（安中工区）

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

バイパス整備事業

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：安中市下秋間 ～ 安中
- 路線名：一般県道 下里見安中線
- 事業内容：バイパス整備 延長1.9km 幅13.0m
- 全体事業費：約84億円（R2完）
- 事業期間：平成24年度～令和2年度（9年間）
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 開通前の交通量（H27）：4,918台/日（現道_自動車）
 16人/12時間（現道_歩行者）
 37台/12時間（現道_自転車）
- 計画交通量（R12）：3,200台/日（現道_自動車）
 3,700～
 9,000台/日（バイパス_自動車）
- 実績交通量（R3）：2,677台/12時間（現道_自動車）
 4,958台/12時間（バイパス_自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・安中市から周辺の都市（前橋市・富岡市）へスムーズに行ける道路がほしい。（地元住民）
- ・歩行者が安全に利用できる歩道を整備してほしい。（関係市）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後（目標） |
|----------------|-------|--------------|
| 移動時間（富岡市～県庁） | 約62分 | 約38分（24分短縮）※ |
| 岩井交差点（安中市）の渋滞長 | 約300m | 0m（300m短縮）※ |

※ 西毛広域幹線道路 全線開通時

実施前

◆通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



実施後

◆バイパス整備により、安中地域において移動が円滑になり、災害時においても広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能になりました。



事業の進捗状況（R2年度完了）

西毛広域幹線道路 安中工区

路線名 安中市安中～安中市下秋間 区 分 3車線 幅員22m
 延長 1.9km 設計速度 60km/h
 幅員 2車線13.0m

歩きやすく、安全・安心な道路が実現

歩道 4.5m
 歩道 4.5m
 歩道 4.5m
 歩道 4.5m



今、何をしているか

令和2年度で、安中工区が供用開始となりました。



事業のすずみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：高崎市下里見町 ～ 安中市下秋間
- 路線名：一般県道 下里見安中線
- 事業内容：バイパス整備 延長3.83km 幅10.5m
- 全体事業費：約103億円
- 事業期間：平成28年度～令和11年度（14年間）
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 現在の交通量（H27）：4,918台/日（現道_自動車）
 16人/12時間（現道_歩行者）
 37台/12時間（現道_自転車）
- 計画交通量（R12）：3,200台/日（現道_自動車）
 5,400台/日（バイパス_自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路
をつくります

地の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・周辺の都市（前橋市・富岡市）へスムーズに行ける道路がほしい。（地元住民）
- ・生活道路の安全を確保して欲しい。（地元住民）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後（目標） |
|------------------|-------|-------------|
| 移動時間（富岡市～県庁） | 約62分 | 約38分（24分短縮） |
| 移動時間（高崎市箕郷町～安中市） | 約32分 | 約18分（14分短縮） |
| 岩井交差点（安中市）の渋滞長 | 約300m | 0m（300m短縮） |

実施前

◆通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



実施後

◆バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時においても広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能になります。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収及び道路改良工事を行います。



現在の状況

事業のすすみ具合

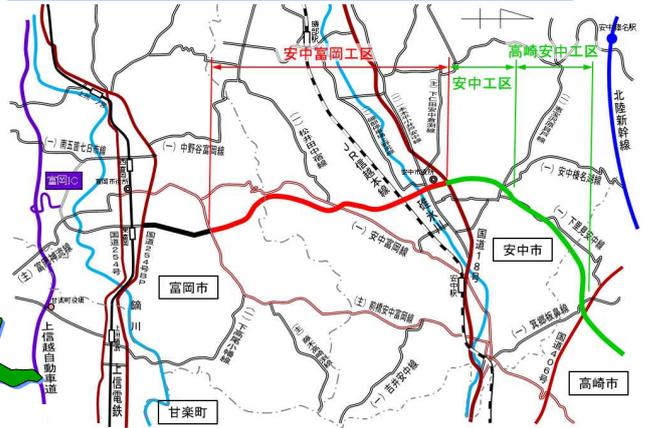


事業概要

- 所在地: 安中市安中 ~ 富岡市上高尾
- 路線名: 一般県道 安中富岡線
- 事業内容: バイパス整備 延長6.3km 幅10.5m~17.0m
- 全体事業費: 約137億円
- 事業期間: 平成28年度~令和11年度(14年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 現在の交通量(H27): 5,039台/日(現道自動車)
 - : 8人/12時間(現道歩行者)
 - : 47台/12時間(現道自転車)
- 計画交通量(R12): 1,500台/日(現道自動車)
 - : 6,200~8,600台/日(バイパス自動車)



事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。(地元住民)
- ・富岡から前橋への通勤時間が短くなるので、早く完成してほしい。(地元住民)
- ・騒音や交通事故が心配である。(地域住民)

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後(目標) |
|----------------|-------|-------------|
| 移動時間(富岡市~県庁) | 約62分 | 約38分(24分短縮) |
| 移動時間(富岡市~安中市) | 約26分 | 約14分(12分短縮) |
| 岩井交差点(安中市)の渋滞長 | 約300m | 0m(300m短縮) |

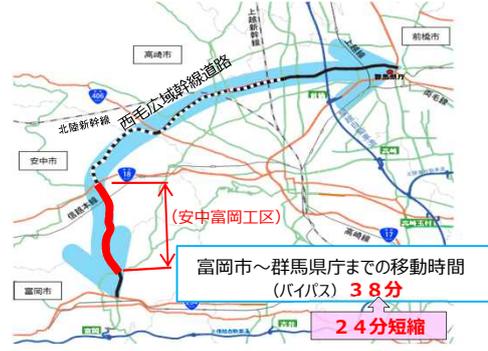
実施前

◆通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中~富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



実施後

◆バイパス整備により高崎・安中~富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時においても広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能になります。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収および埋蔵文化財調査、道路土工、橋梁下部工事、電線共同溝工事等を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：安中市松井田町上増田
- 路線名：一般県道 長久保郷原線
- 事業内容：歩道整備 延長 770m
道路幅 9.5m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：平成28年度～令和2年度（5年間）
- 現在の交通量（H27）：310台/日（自動車）
： 8人/12時間（歩行者）
： 5台/12時間（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備しました

地元
の声

- ・通学路であるので、通学する児童、生徒の安全を確保してもらいたい。（学校関係者）
- ・近くに梅林があり、見頃には多くのお客さんが来るので、安全に通行できるようにしてもらいたい。（地域住民）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後 |
|---------|----------------|--------|
| 交通事故件数 | 0件/年（事業前5年間平均） | 0件（維持） |

実施前

- ◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前

実施後

- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



完成後

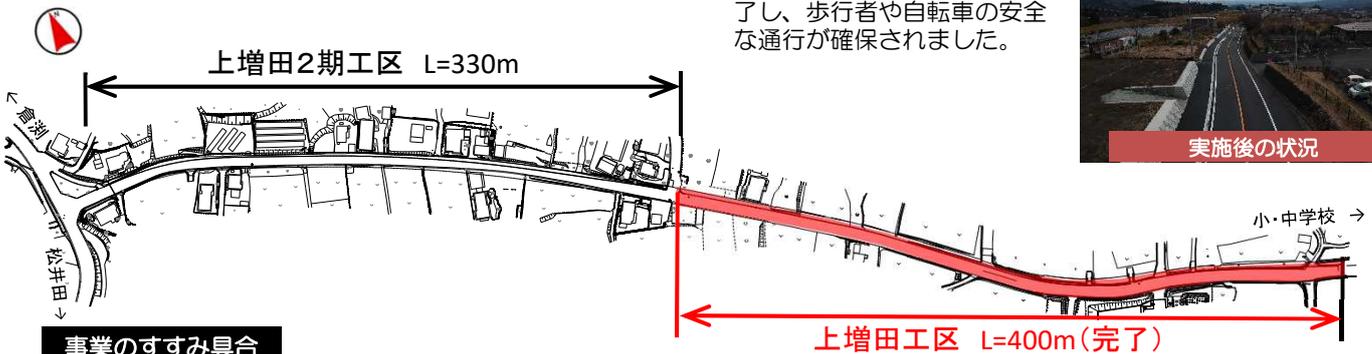
事業の進捗状況（R2年度完了）

今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



実施後の状況



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：安中市松井田町国衙～小日向
- 路線名：一般県道 長久保郷原線
- 事業内容：歩道整備 延長 850m
道路幅 9.25m
歩道幅 2.50m
- 全体事業費：約7億円
- 事業期間：平成23年度～令和3年度（11年間）
- 現在の交通量（H27）：3,894台/日（自動車）
： 31人/12時間（歩行者）
： 14台/12時間（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備しました

地元の声

- ・トラックやスピードを出す車も多いため、登下校がとても不安です。（地元小学生）
- ・路肩を歩いている子供たちを見るたび、車に接触しないかハラハラします。（地元住民）

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後 |
|---------|------------------|-----|
| 交通事故件数 | 1.6件/年（事業前5年間平均） | 0件 |

実施前

- ◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



実施前

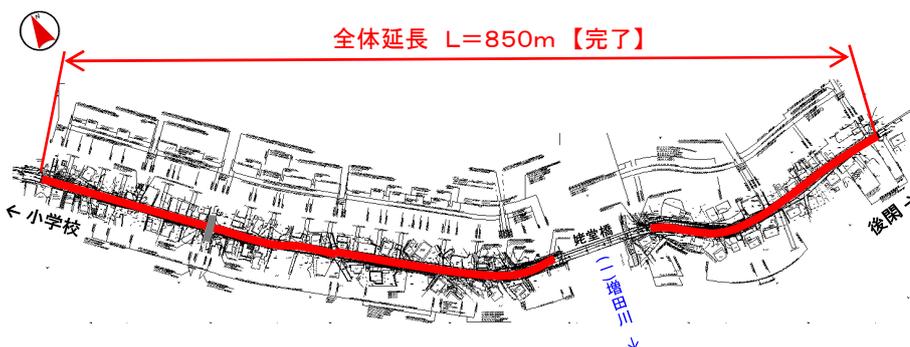
実施後

- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



完成後

事業の進捗状況（R3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度に歩道整備事業が完了し、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保しました。



現在の様子

事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：安中市原市
- 路線名：一般県道 長久保郷原線
- 事業内容：歩道整備 延長 3,200m
道路幅 7.0m
歩道幅 1.5m
- 全体事業費：約6億円
- 事業期間：平成25年度～令和3年度(9年間)
- 現在の交通量(H27)：4,046台/日(自動車)
： 81人/日(歩行者)
： 64台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました



- ・生活道路にもかかわらず、国道の抜け道として利用する車が多い。(地元区長)
- ・通学路であるので、児童・生徒が安全に歩けるようにしてもらいたい。(学校関係者)

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後 |
|---------|------------------|-----|
| 交通事故件数 | 6.4件/年(事業前5年間平均) | 0件 |

実施前

- ◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業の状況

実施後

- ◆歩行空間を広げ視覚的に明示するとともに、車道空間を狭め、歩行者の通行の安全を確保しました。



完成後の状況

事業の進捗状況 (R3年度完了)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和3年度に歩道整備事業が完了し、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保しました。



整備後の状況

事業概要

- 所在地: 安中市安中
- 路線名: 一般県道 一本木平小井戸安中線
- 事業内容: 全体延長 480m
管路整備延長 998.5m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 平成28年度~令和5年度(8年間)
- 現在の交通量(H27): 5,959台/日(自動車)
: 102人/12時間(歩行者)
: 136台/12時間(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化し、電柱を撤去します

地元の声

- ・沿線に高校があり、歩行者も多いが電柱が支障で歩道が狭くなるのを改善してほしい。(学校関係者)
- ・歩行者の安全確保のため、早く工事を進めてほしい。(地元住民)

| 成果を示す項目 | 実施前 | 実施後(目標) |
|----------|------------------|---------|
| 交通事故件数 | 2.2件/年(事業前5年間平均) | 0件 |
| 電柱倒壊のおそれ | あり | なし |

実施前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

実施後

◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されます。



完成後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、歩道舗装の復旧及び電柱抜柱を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ●●●●● 事業完了

